

# 下水道で住みよい環境づくり 伸ばそう下水道

私たちの生活が文化的に、あるいは便利になるにつれ、そこから生じる汚水（洗剤や油、ゴミを含んだ生活排水など）は、湖沼・河川・海等公共用水域を汚し、そこに生きる動植物の生態を変え、自然環境に大きな影響を与えています。

特に私たちの住んでいる亀田郷においては、近年の急激な都市化により鳥屋野瀧の水質汚濁が進み大きな社会問題となっており、新潟県及び流域三市町村（新潟市・亀田町・横越村）では、多大な費用をかけて浄化対策に取り組んでいますが、まだ環境基準に達しておらず根本的な対応策としての下水道の整備が急がれています。

## 進む下水道工事 進まない水洗化

これまでに下水道事業で整備された面積は二一・四三ヘクタール、下水道普及率は七五・六％になりました。

しかし、処理区域全体から見ると水洗化率は、五七・五％とまだまだ低く、せつかくの施設の有効利用が図られない状況で

す。下水道事業には、村税そして国・県からの多額の補助金や借入金、皆様からの受益者負担金で事業を実施していますので、整備した下水道施設は「みんなの財産」なのです。

## ◇供用開始区域内は 水洗化が義務

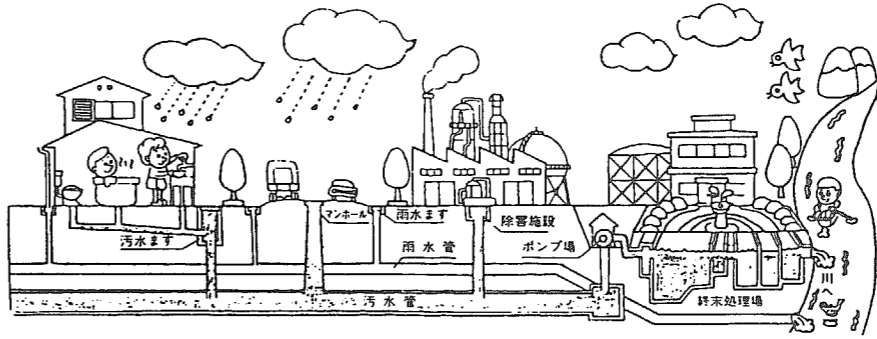
この施設の有効利用および環境改善のため、まだ下水道に切り替えていない世帯も、早めに排水設備を整えてください。くみ取り便所を使用している世帯は、三年以内に水洗化することが義務づけられています。また、浄化槽を利用して世帯も、速やかに浄化槽を廃止し直接下水道に接続してください。



① 処理区域内の建築物の所有  
② 融資あっせん条件  
③ 融資あっせん条件  
④ 連帯保証人一名を付すこと  
⑤ 連帯保証人一名を付すこと

- 者および土地所有者の同意を得た方
- ② 村税及び下水道受益者負担金を滞納していない方
- ③ 貸付けを受けた資金の返済能力を有する方
- ④ 連帯保証人一名を付すことができる方

## 下水道のしくみ



現在、水道使用料・し尿汲取手数料については、集金等により納入していただいておりますが、平成八年一月分より集金については、廃止いたしますので、集金により納入されている方は、口座振替による納入へ変更ください。なお、口座振替については、

### 口座振替の手続き

水道使用料については、平成七年十月十五日までに集金している方が、申込書を配布、回収します。  
し尿汲取手数料については、平成七年十二月末までに、金融機関及び保健福祉課で行ってください。  
口座振替を希望されない場合は、役場、金融機関等の窓口で現金納付となります。  
口座振替金融機関は、下記のとおりです。  
なお、水道使用料については、

- ・ 建設企業課へし尿汲取手数料については、保健福祉課へご不明な点はお問い合わせください。
- 融資限度額 六十万円
- 融資の利率 現在三・七〇%
- 融資の方法 最高三十六ヶ月の元金均等月賦償還です。
- 融資時期 工事が終わり検査合格後となります。
- 融資の利率 現在三・七〇%
- 融資の方法 最高三十六ヶ月の元金均等月賦償還です。
- 融資時期 工事が終わり検査合格後となります。

## 自分の意見を堂々と発表

～村内で三市中蒲主張大会開催～



九月五日に総合体育館で「わたしの主張95三市中蒲原地区大会」が開催されました。

今大会には、横越村を含む七市町村の参加があり、代表の十四名が約三百五十人の聴衆の前に、日々の暮らしから得た体験を基にした意見を堂々と述べました。

発表された内容は、主にボランティア活動を含む福祉に関するものが大半を占めていましたが、どの主張も少年達の真実な声であり清々しく爽やかな主張でした。

の「努力」輝き」が選ばれ、優秀賞には、手話を覚えて新しい世界に目を開いた稲餅妙子さん（五泉中）の「一つの輪」とクラスの席替えを切っ掛けに本当の意味での自由を考えた鈴木優子さん（五泉北中）の「本当の自由とは」が選ばれました。横中からは、三年生の小松香奈子さんが、「のぎくの家」のボランティア活動を通して人と人との関わり、人を思いやる心、生きることの素晴らしさを知った主張。

二年生の本間亨さんが、日米親善レスリング大会でホームステイしたオクラホマ州の高校生との交流を通じて、戦後五十年を考えた主張。



その結果、それぞれ奨励賞を受賞しました。

共同募金  
**赤い羽根募金**  
10月1日～12月31日  
愛と希望  
平成7年度共同募金目標額  
2,523千円に決定  
10月1日から全国一斉に赤い羽根募金運動が始まっています。今年度の村の目標額は、赤い羽根募金で1,973千円と歳末たすけあい募金550千円のあわせて2,523千円となりました。後日、囀託員、隣組長さんを通じてみなさんに共同募金のご協力をお願いいたします。  
共同募金会横越村分会



消防第三分団(小杉地区) 県大会で完全燃焼

八月二十日に新井市で開催された第四十六回新潟県消防大会ポンプ操法競技会に、三市中蒲原地区の代表として第三分団(小杉)が、小型ポンプ操法の部に出場しました。

## 元気に集まった 敬老会

九月十五日、村内五会場場で敬老会が開催されました。今年度の対象者は、男性二八六名、女性四八九名の合わせて七五五名でした。各地区では、来賓の祝辞に続き県や村、社会福祉協議会及び郵政省などから長寿を祝う贈り物が手渡されたあと、心づくし



浅見村長から祝い状の贈呈

この大会は、各地区の代表十人チームが日頃の練習の成果を披露し、その技術を競うもので、第三分団も春から数十回、亀田町消防署員の厳しい指導のもとに、練習を重ねてきました。大会では、地元小杉地区の大応援団の応援を受けて、ホースの装着から放水まできびきびした動作で成果を披露し、健闘しました。

## 内閣総理大臣などから 小杉 今井ムムさんに 百歳のお祝い状

九月十四日、小杉の今井ムムさんに百歳をお祝いして、内閣総理大臣、県知事からの祝い状や祝い品が贈られました。また村からも、村長より祝い状等が手渡されました。長寿の秘訣は何ですかという質問に対しては、「家族の人が優しくしてくれる」からと答えてくれました。

稲わらの焼却は絶対にやめましょう（稲わら焼却防止期間は8月20日～10月31日）